

全国

商工新聞

長岡版

発行編集 長岡民主商工会
長岡市中沢町一六七-1
〇二五八・三三・五九四八

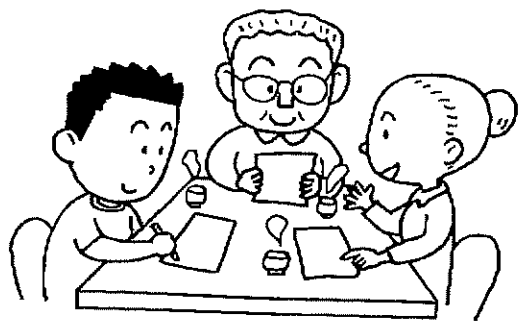
2018年 3月5日 第1897号

確定申告期限まであと少し。万全の準備で申告書提出に望みましょう。

確定申告期間がいよいよ始まり各支部で班会が開かれています。申告書の作成を着実に進めましょう！

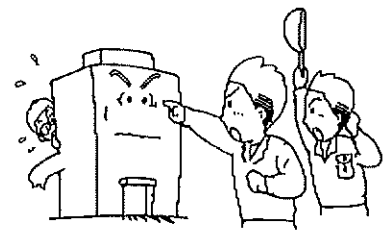
2月16日(金)よりいよいよ今年の確定申告期間が始まりました。民商でも各支部で班会が開かれています。皆さん、申告の準備は進んでいますか？確定申告は昨年1年間の商売の総決算として自身の商売の状況を知る機会にもなります。売上や仕入、経費をしっかりと把握するようにしましょう。

申告書の内容では昨年から新に設けられたマイナンバーの記入欄。今年の班会でも会員さんから記入の必要を聞かれることがあります。マイナンバー未記入による不利益はないと回答していただきます。また今年からの変更点として医療費控除の際の領収書添付が不要になりましたが保存は必要ですので注意しましょう。



今年も「消費税増税中止」、「憲法9条改憲NO」、「原発からの撤退、再生可能エネルギー転換」の3つの署名と春の運動資金として募金をお願いしています。申告の準備を進めるなかで感じる税負担の矛盾、応能負担の原則に基づく課税の適正化や内需主導の景気回復が求められます。申告書の作成に主眼が置かれがちですが私たち中小業者が仕事を続けていくためにも自分たちを取り巻く状況にも目を向けより暮らしやすい社会に変えていかねければと改めて思います。

確定申告が始まった日、国税庁と財務省が入る霞ヶ関の庁舎前で「森友・加計問題の幕引きを許さない市民の会」が緊急デモを行い、その様子を翌日の一般紙や先週の商工新聞で取り上げられました。国税庁長官に対する森友学園への国有地売却をめぐる国会答弁は批判が高まったままです。「何かおかしい」と思ったことに声をあげて行動する姿が見られた確定申告初日になりました。



青年部が県青協総会に出席

2月11日(日)、三条市の三観荘を会場に県青年部協議会(県青協)の定期総会が開催され県内各民商から17名が参加しました。長岡民商青年部からは県青協副会長の中島竜一さんと事務局・佐藤が出席しました。昨年実施された業者青年実態調査における県内の集計結果を見ると所得200万円以下が半数に迫るなど切実な実態が浮かび上がりました。また事業所得200万円以下と500万円以上の回答がそれぞれ増加、200万円から500万円が減少する二極化の構図が見られます。調査からは補助金学習会の開催や経営計画作りが要求として挙がりました。これらを踏まえ長岡民商青年部としても学習会の開催の他、業者青年の要求実現のため部員拡大を進める活動を今後も続けていきます。



3・13 重税反対長岡集会

私たち中小業者への重税反対を訴え今年も統一集会と集団申告を開催します。会員同士誘い合って1名でも多く参加しましょう。

日時 3月13日(火) 10時開会

場所 三越タクシー 5階ホール 大増税・憲法改悪反対!!

例年同様、集会終了後の11時頃より長岡税務署までデモ行進し集団申告になります。

